



“いいまち” つくる#町です！！

2019年1月 第21号

岡崎市議会議員

井町よしたかの

“いいまち” ニュース

(市政レポート)

子供からお年寄りまで幸せを感じられる岡崎市を目指します！

発行：岡崎市矢作町字出口1番地 井町圭孝連絡事務所（東し労組内） TEL:34-2514

明けましておめでとうございます。

12月議会及び市のトピックスを報告させていただきます。

岡崎市議会は、12月定例議会を12月3日から21日までの19日間開会し、全32議案を可決・決定しましたので、今議会で決まったこと、分かったことを中心に報告させていただきます。

西部学校給食センターを矢作地区に建設することを求める請願通過

昭和53年に建設され、築40年を経過した西部学校給食センターは、施設・設備の老朽化が進み、食物アレルギーへの対応など全くできていない状況のため、地元の子どもの安全・安心を考え矢作地域5学区の総代会長、副総代会長の計10名が代表者となって市議会に対し『西部学校給食センターを矢作地区に建設することを求める請願』を提出。私も矢作地区の選出議員として紹介議員となりました。請願は、文教生活委員会の中で審議され、各議員から様々な意見が出されましたが、満場一致で賛成され、市長に送付されました。矢作地域全体の想いとして出された請願が議会のお墨付きを得て市長に提出された事は極めて重いものとして扱われることになると思います。今までは中之郷町に西部学校給食センターを建設する方向で検討されていましたが、事態が進展しないことから矢作地区で機運が高まり請願提出に至りました。

阿知和地区工業団地市が事業主体に

阿知和地区工業団地は岡崎市の「ものづくり」をさらに加速させるものと期待され、現在事業がすすめられています。これまでは愛知県企業庁を事業主体とすることを基本的に検討されていましたが、分譲開始時期、地元との協議調整及びスマートインターチェンジとの事業調整を考慮し、市を事業主体として整備を進めることが決定しました。市が事業主体となる事で、2年の前倒しが可能になること、スマートインターチェンジ整備事業について、ネクスク中日本との調整も容易になること、のメリットに加え、地元協議会も市が事業主体となる事を望んでいるため、事業が計画通り進むことが期待できます。

阿知和地区工業団地の概要は次の通り

- ・位置 東阿知和町、西阿知和町、真福寺町地内
- ・面積 約57ha
- ・分譲面積 約25ha
- ・分譲開始 2024年度
- ・概算事業費 約171億円

(売払収入約142億円)

平成29年度決算の認定議案を始め37議案で活発な審議

おかげさまで
議会だより
vol.194
2018

平成29年度決算の認定議案を始め37議案で活発な審議

- P02 一般質問
- P08 志立議案
- P09 職場環境改善
- P10 29年度決算案
- P11 付録
- P12 審議結果
- P14 おかざき未来“夢”プロジェクト、12月定例会予定
- P15 職場環境改善推進委員会
- P16 財政課、政府などへの意見書 ほか

岡崎市議会、学生と意見交換会を実施

岡崎市議会初の試みとなる学生との意見交換会「おかざき未来“夢”プロジェクト 子ども育てラウンドテーブル」を岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の協力をいただいで平成30年10月3日（水）に実施。第1部では市議会から「これからの本市の子ども子育て」について説明し、第2部では大学側から「子ども好適空間研究」について説明、これらを踏まえて第3部では岡崎女子短期大学の野田准教授による「コ－ディネート」により、学生がグループリーダーとなって議員と活発な意見交換を実施。職場環境やスキルアップ、処遇に関する意見がまとめられ、これらの意見は提言書として11月5日（月）に岡崎市長に提出し市政に反映するよう依頼しました。

井町の部屋

12月定例議会で自身15度目の一般質問に登壇しました。質問した3項目のうち①鹿乗川の水害対策②防犯の2項目について要点を報告させていただきます。



井町質問映像

鹿乗川の水害対策

Q JR交差部が拡幅される下流特に池佐橋、岡崎刈谷線の昭和橋間が狭く感じるが大丈夫か？

A 流下能力は毎秒1.5m³→4.0m³へ向上される計画である。この流下能力の増量に対し、JR東海道本線交差部から下流の岡崎刈谷線の区間は、すでに平成12年度から14年度で時間雨量20ミリメートルに対応する拡幅工事は完了しているが、さらに下流の市境周辺では、堤防の余裕高が不足する区間があることから、JR東海道本線交差部の河道切り替え工事に併せ、堤防の嵩上げ工事を行い、安全を確保する計画であると県から聞いている。

Q 上流部は未だに道路冠水被害が発生する等拡幅が急務と思われるが、本市は鹿乗川の水害対策について事業主体である県に対してどのような要望をしているのか？

A 県が管理する鹿乗川は、平成22年3月に策定された「矢作川下流域域河川整備計画」において、安城市内の48キロメートルと岡崎市内の5.2キロメートルを合わせた、約10キロメートルの河川改修と2箇所の遊水地整備が示されている。現在、鹿乗川の改修工事は、安城市内



「河川整備計画」に基づく河道改修が進められ、本市内では時間雨量20ミリメートルに対応する暫定河道整備が実施されている。

要望については、「筒針町地内の主要地方道岡崎西尾線の下河田橋」までの暫定的な改修が、平成33年度で完了を迎えることから、本市としては、さらなる浸水被害軽減のため、県管理区間である下河田橋から上流の「名鉄名古屋本線交差部」までの残り約2.2キロメートル区間に対し、引き続き「暫定的な河道拡幅を行い、流下能力を向上させることが必要である」と考えている。

このことから、早期の事業化に向けて毎年、市長自ら国と県へ強く要望活動を行っている。

登下校防犯プラン

Q 登下校防犯プランで抽出した本市の危険箇所数とその選定基準を伺う。

A 各学校から危険箇所としてあげられた総数は203箇所。選定の基準については、国からの「通学路における緊急合同点検等実施要領」に基づいている。具体的には、不審者事案が多発していたり、ごみの放置

や落書き等、地域環境の管理に課題があったりするなど、防犯の観点から危険があると判断した箇所のうち、その対策に複数の関係者と確認・協議が必要であったり、直ちに対策を講じることが困難であったりする箇所が基準となっている。

Q 危険箇所の周知方法は？

A 学校から報告のあった危険箇所は速やかに対応する必要があるため、まずは各学校において保護者や防犯ボランティア団体等に対し、周知を徹底する等適切な対応を要請している。また、安全マップの次回印刷時には、今回調査した危険箇所を記載するなど、適切に対応するよう指導していきたい。

井町の意見！

鹿乗川上流部流域は未だに少し強い雨が降ったときは道路冠水している。早急に下河田橋より上流の拡幅工事を進めるよう、今後も強く事業主体である県に対してより強い働きかけを続ける必要がある。

また、登下校防犯プランについては、市内の通学路に203箇所もの危険箇所があり、子ども達が安全安心に通学・帰宅できるようにするためにも、市や地域が一体となって改善しなければならぬ。市が補助してでも危険箇所を落とし込んだ安全マップを早期に作成し、周知することが肝要である。また、議員各位も安全マップを確認し、率先して各地域の危険箇所の改善・削減に努めることが大切と考える。

井町よしたか
連絡先



HPはこちら

事務所 〒444-8522 岡崎市矢作町字出口1番地 東レ労組内

TEL:0564-34-2514 FAX:0564-34-2517

自宅 〒444-0931岡崎市大和町字塗御堂24-6

TEL:070-5253-4192 FAX:32-4192

E-mail : yimacchi@m5.catvmics.ne.jp

ブログ:<http://ameblo.jp/iimachi-imachi/>



政治に参加しよう！

地域の困りごとや、市政に対する意見・ご要望など気軽にご連絡下さい。